祭錮五年

**東北京中佐地** 

滿

井

禁錮三年

判決概要左の如

部に對し一月十一日判決言波しありたりについては引續・愼重審理中のどころそ

# 關係者の斷

陸軍省から發表さる 禁錮四年

国り競表したる所なるも、その他の事件関係 大き議に附して慎重者より左の通り發表された 一時五十八分陸重省より左の通り殺表された 一時五十八分世重省より左の通り殺表された 一時五十八分世軍省より左の通り殺表された 断行すべく異に特設せられたった東京陸軍をするため間接並に背空關係者の徹底的糺明に今後の憂ひをなからしめ、帰軍の徹底的糺明 禁錮三年 陸軍步兵大尉 末 松 太 挳

禁錮

年六ヶ月

年六ヶ月

(執行を猶豫 省吾

禁錮五年 禁錮一年 陸 城

寒師役壁軍少將

有軍刑法第三十條第三 候により 野観者を

年

版法違反による罰金刑二名、無罪十三2.」「16条一項により叛亂罪さして處罰、出一」16条一項により叛亂罪さして處罰、出一 咸北國境の巡視から歸りて て働いて

であった。 在所に行った時はモドニ十六度 門局自然長は許る

に検討する必要が急初である に検討する必要が急初である。 に検討する必要が急初である。 に検討する必要が過かった。 に検討する必要が過かった。 に検討する必要が過かった。

春海

世衆は全部で五十一般に達した世の手質さを朝つた、之で政府提供を加く二法案を決定、議司提「東京憲語」或所は十九日の翻談

政府提出法案二件

### 人一話

に入館することになった、こ一般別館に入館文下村氏も近く

研究會入會

昨日今日、年頃に難ひこ に早くも空間が出来かけ で書き始められた日記の官 降電分離く薄らぎかける。 歴好 虎秀 日記の價値

の男の背後には、頭からぐしよ

、から云つて呼んだ一人の男。

時前の質量越町屋の椅子先に立

波しぶき(八)

れになった島田の娘が一人しよ

どなた概か信じまんが、

く書き限くる所に趣味

づつでも、心ず毎は戦気と

年パヶ月(朝行を強像

E

亦建々なる自己の変を永ら や仕事、窓想などを通じて のはないでせらか、申す っなく日記は日々の出来事 み過去を駆みながら現 出に登る時ほど懐かし のみならず、寸暇を利 しる上に多大の参考と

ず、二十年あまりに買る仏 があり價値があると思ひま 「點ぐ所に、復刺たる生」

※に覆ったり、あれもこれの程線によりますれば、文

ら一層の御趣版を動る次命を離信すると間時に、心かを離信すると間時に、心か

初度巡視中のところ千九日令将可第は師園等戦長 平北長)十九日入城朝鮮ホテル長)十九日入城朝鮮ホテル **本社記者募集** それた、見書記書書刊名 門學校以上の學校を挙(ロ)來る三月までに專て廿七歲未滿の者 社 告



天地支責

私にするならヨーロッパ諸國の 護するに足らず。 信頼して可なり。そんな事を 北鮮工業地帯の戦時危険は 皇軍の質力 「あつしやアこの先にゐる年次と

ハ路面を収

お秋!」と力む政権が批議公 融質のたんびに「今で政派更

十八日同盟主会報』所顧不明の飛行機一應が地中海上のフランス魔法艦に衝弾六萬を投下したと際へられる「外田線の際右の量道はブランス会國民に異常な衝撃を襲(てある、十八日午後後飛行機一整が地中海上に於ける循法艦の上卒に飛攻場連六覇を投下したと顧問する、地中海の開発、外田線の際右の量道はアランス会國民に異常な衝撃を襲(てある

國籍不明の飛行機が

【バリ十八日同盟堂急報】ハバス通信社は十八日午後七時半次の如く景道してゐる

當局情報。國籍不明の飛行機一台がフランス粉述艦に振彈大節を投下した。但し艦逐艦には幸

不在性長不可論は吐栗不振の えところから、誰でもいゝ、居所 「お飽さんが水、間行方の知れわ

「それや瞳に出しましたが、まさ

「虚も隠しも無え。よく眠の玉を んでもわえ。おめへ

「間違えか冤狂か。だからよく腿 「そ、それやきつと開連ひでは。 んれえら

「質の用ぢやわえんだ。お削さん ますから、どうか明朝にお願い れやア、それから先 待つたと押し止めた。 いません。主人活兵 「それはもら仰しやるまでもござ 一待つてくんねえり えかい もんだの。 一待つてくんねえっ 南がお目に掛 へもらひてえ てお飾さんを けた上で、ニ こんだる おれ きまりとあ 明明

きな。導力人がある。密ちやアーねえ一取つた、二三日所は他 ○ からやつて連れて来たんだ。だからで、こつちにやごつもの名へがあらてな、いくら選革で清折りの大時だらうが、鑑念ほかりやて期もなんだから。どう裏が照らねえも 「あり、やつはりだ いきなり上間へ飛び降 草で何軒と指を折られて居ります 云はれたんちゃ、 ーモいつがいけわら いきなり土間へ飛び辿りて大戸へあわてふためいた番頭の高助が がるんだ。 おめへい 「安心してゐれやこ か消えない時分 それで兩方共 H an った。おめへさ こそ、わざり 金輪際問題ひ つちやア元も のを、北次は こい何んとか ませんこどう 一出したのは生 いつそ卸主人 わけのもんち の方で企を出 しくなつたと 000 てんだる疑 787 お約束をい 假りにも透 娘は艦に受 號 東亚の動き愈と急! を元として、解説もて物せる実常時報。 等、支承通の第一人者たるま者が、親等、支承通の第一人者たるま者が、親り一人者たるま者が、親り一人者に対けるからから、 第一附錄 隣邦6全貌 | 目瞭然 第一附錄 何人も贖め! 而して認識を新たにせよ! 動き等一目見れば分る便利重覆の大地置りの電循機構、共興の勢力地帯、共産軍、抗日低ので飛門機構、共興の勢力地帯、共産軍、抗日低の支那内地の地理地勢は云はずもがな、産業、現在 會を目前に控心 名著!即刻御一讀あれ之こそ全國民必讀の大 聖雄マホメット金金 K 

服能を用き政府の國策発行に伴ふ **感、外交、脈疎方戦極計の草案を** 動相の認簡階頭に行ふべき一般施 話法案の証曹提出を決定したが、 既に定例語話を聞き資相、外相、 更に十九日午前十時年上り首相官

相會議の結果に関し

町田民政、総木城及南京結成を訪

『默然は相對立能整備の下に凝密に | 七年東指線級就任蘇聯十八日引選をに十九日決定した、幾つて城府 | に陥った、氏は霊媛縣出身、昭和

對議會策に

の割一性打破、中央地方におけの割一性打破、中央地方における政治単に行政の調整をはかる

一相の演説草案決定

つき協議

自相の兩黨總裁訪問

取止めに决定

高方針で着く砲幅を進めてある。 一次の間に総対的、人事局を置くと ではなほ研究中でまだ園。 についてはなほ研究中でまだ園。 についてはなほ研究中でまだ園。 についてはなほ研究中でまだ園。 についてはなほ研究中でまだ園。 についてはなほ研究中でまだ園。 についてはなほ研究中でまだ園。

所信を披塞して雨気の支持を抵請 間して体質明け識質に悪む或所の

跳むことになつた

高山前東拓總裁 全く危篤に陷る

> 統院議員に當選すること公回に及 したばかりで明治四十一年以来家

賣出すべく記載してゐる

を必要とすると同時に、非常な

生活改善運動には大なる場所

中旬、遅くて四月初旬迄に市中に製造を急ぎつゝあるが早くて三月 め過脱決定した十銭兩切煙草の ので整質局では折角の値上げ

増取計費に影響を来すの惧れある

拾錢兩切煙草

十九日入城、

瓦斯中海、何時になつたらこれ

夏は臨道枕の屋、冬は温笑の

氏((\*)は去る十二日顕真的で倒 【東京電話】前東拓路遊高山長幸

の定例閣議

節申せず

ナダコツに征服の報告 ・ 教師・ラトル健次・楠瀬正遠・女日ニンシラルーツ・南澤十七・南澤十七・南澤十七

共産黨檢署16、制

念を訴ふ、際族

新聞二頁大四色刷の大財録! 月號。評判讀物

當 波 阆

大藏 榮一

禁錮

地計畫委員會

**総本公甫、上龍鳳北、郡行京都、上四平南(自自西南都長代理)変配平北、田川上郎清郎長、久椿北島郡長、な野城蔵要志帯美宗は、韓桐龍氏、門山間旅經濟等いたの大作四勢局長委政長代理として総武、矢・忠禄、三遺集桥、山田縣高音局のため大作四勢局長委政長代理として総武、矢・忠禄、三遺集桥、山田縣高音局** 

**員をしてその他幹事出席、まつ大竹委母長代理より機變あつて後直もに読事に入り参山を衝頭として** き四倍局脈炎に對する各府哲容中を利加してこれを提示、各委員論見の開闢あり強重智能を遂げ 市街地計電船域決定に隔する件(一)同街路決定に翻する件(一)同上地區劃 整理決定に関す大部堡賃銀市の

一般を的最快定し、芝に都合七都市に両する将来の起展を見透した市徽地整備の証拠内容 成英の各都市に開しても同

内容を確定、新

+

自然である意思官功

金警察官の龜雖

一館職業で成城、广川、隅城を始、野及に公力を知けることになって「破獄り等を懸置付で繋撃し、不 度七正平二世三以十九日午町十一時から京畿祖第 るので、これを中心に研歴歴想の「遊びり等を懸置付で繋撃し、不 度七正平二世三以十九日午町十一時から京畿祖第 るので、これを中心に研歴測点が行はれ、共心酸薬剤の郷代料園よりデーや 一度九 (十九日) 北東の裏曇り、「中間・大田・ガンを高く伸立て、道南生 今年も単年同様五月ころの新書店で 手を贈って貯備の郷瀬増進に繋め 日)北東の裏曇り、今年こと院薬剤を組成せよりの「生成院師のアラン大部定を開いた」への意識をやり、また地が振しる「豊富」とによると、今年こと院薬剤を組成せよりの

測長の整層を得て昭和十二年の第一ひ等を利用して徹底節に一般大衆

てゐます。隨つて天氣は一般に觀く時れてゐるの四國神。八丈蘭西方等には小低氣懸が進り一本のり又小等原幕湖近及支那四陸にもあります一方台

十九日朝の投水。登園は熊神園塔から前洲県部

9

省公

B

封

切

画系

モンンド

九日)午期六時零下

社會教化の放送……

愈よあすから開始

の衛生保主任を召集西籍不断衛生|映正緒のスクリーンや問題の様言

め道内各署の衛生主任及び府邑面

あるか、京都道防災電話は特に各

名へ功勞記章

南總督から授與さる

人命救助や討匪の花

高む五勇士の胸間た、そして南魏時 昨年十月九日夜母駐在の主席の

> も例みそれり、準備中であ自数化放送は、番師の選定 語骨府社館教育郡主催の此

自らてイクの町に立つて探であり、開始番目は点大學であり、開始番目は点大學では野野野野長

6第一放送は修養講座(器 6第一放送は修養講座(器 7年)

膨を述べることになつて囲

は、明州雄・世突襲當時、北大党

がられ、いまは歩兵衆技組大統の を持つてをり班長以下全域に可愛 て第二世も既に劣らの優別に技能したが記石は名犬の質子だけあつ

親は武勳の名軍犬

| 陶磁器を初めあらゆる耐火品製造 | の石炭以上の火力を観し得る備力

燃料費を節約し火力を倍加 中央試験所の 大橋技手

に使る燃料は多量を要し、一方像一系を観明して報道の下業界に一大一

締めて夫婦で用足しに行き闘宅し 男神歌(デ)を温雯に歴せた媼川 血量階単九六本調品さんでしか長

限族のでもな火力の強い良質の燃ー報音を難した

野を乗してあたところ、本府中央 及び納火融工業の創選に多大な賦 な費用かかくるため我員の演習の料を必要とし、従つて燃料に真大

組織所需義部主任大橋成夫が事が

財は

大班の入城を機能しするため軍国市用大阪の朝鮮本部 新建盛に | 主催、四郎軍司介部、勇士師叛司 廿一日夜來靑閣で

本社後援のもとに

プ東川大学。1、語言のタイを含む離に本総役扱の下に明後す一 プ東川大学。1、語言のタイを含す とで蔵時帯に平時に於ける軍用犬のが軍犬の訓練についてくの諜頭は切りてくの諜頭は 映画・電大調源機能・三番、入しと、なつた歩兵學校電大班編纂

|飛網人アプドラハ、氏外四名は日||一同は井四両を、また大郎荷元町||高の路線前日光タクシー(超越手||後三百五十両を守ら古し対人と戦争を観測させてゐる。後山征住日||プドラハマノフ氏等四氏と使用人| (計解の職を緩鳴が南側道路可を通り受失主部断算表現)||1888||第一個を影響を ての朝鮮的交換体でが建立され軍 マルメクト教院改立グマドラ・アの自然は人をの他の外入から始め、繁徽して二百七十風を、大都在住 氏は州間を何れる丹本帝国に関す一の適則を横瞰せんとして別地の同一〈生配があつた ノ四カーザン高層主カフワロウ

本国題の手厚い伽渡と国民の帰議」る原語の一盟として献金したもの「面に駅れ牌職時、自動時共に大幅の手厚い伽渡と国民の帰議」る原語の一盟として献金したもの「面に駅れ牌職時、自動時共に大幅 防空費飲念相つぐ 踏切りの桥事

|3||一同は卅四回を、また大郎将元町||高の陰障前日光メクシー(運動手||後二百五十回を持ち出し女人と (金水洪) が内地人婦人を敬せ列品 八日午後九時ころ年期行列心が 金を拐帶家田里の政策の機業學校生徒である。

一に姿を晦した十八日京城府内各第

全般天氣象報

夏 東北 北西西市 大阪 でかった 大学に変 で 北北西西市 大阪 でかった 大阪 でかった 大学に変 でかった 大学に変 11の風が、雪 山北地の屋 一般にも

年こそ完全に

全京畿道内の明朗化を別し

ける防疫陣大評定

章 [明日] 量9

【今晩】盤り

お蔵北 の風労く 気つたり配催地 北方岩東 晴れたり

の現代女性哀歌 世に捧げる感激 成 瀬己喜男が

獣激女がご

C B L 映

型 翻 特 提

入成罪

にたか子 間間 習

江 潮豐

・過程子・間か子主演の事事



家出人懸賞搜查廣告 開行者」元潔師 田一々



注意を乞ふ 「ナガギ」の文字に御の節は必ず、®印と 類似品あり御買求め

大日本製ੌ語株式會社 大阪 • 東京

もの言はぬ勇士

陸軍步兵學校の軍犬十二頭

けふ大元氣でごる

### 冬の家庭へ赤信號 叉もガス中毒

情けの親心いとし子を殺す

是最何號か高く掛げられ、此語の 妻行方不明 田舍出个人

日またも炭酸ガス自港事物が出版 脱りを集めた、その翌月けふ十

窯業界に革命

財子の他保険指揮の下に早くも猛烈な武徳・副郎を行ひ、はち切れるやうな近海をみせ、原の転れを憩ふ削もなく直もに軍河全部前の軍犬尉帰朝鮮支部副戦場で弾長韓太陽中、氷結の漢江上で配衆副戦を斃行する諸軍步兵技 (小)政の将撃士(頭は十九日朝人坡、

を加へ四名を用すに至った 「特別成大学と目前は個代は影か、上つて人職を落したもの主呂」 物に来た韓華根さんの変と カヘ三日前期間保護部か、上のて人職を落したもの士三名で 方へ三日前期間保護部か

これは纛島の惨事

| 日報所ではないかと見られて重要配面| | 日報所ではないかと見られて可能が高大回塞に置け出た。

! 信塔字金 ↑ 高最高映界世で凌を高映の百凡に量に質

思北陰城郡の怪盗

空を度せた。道理に外出の整葉与か、次、協大総含で消火につとの大波、空の間鏡町に取って大人的に動い所に即け出た、保証が調べると患。応方連務の期四百石に何緒がが成。然の展虹な東郷、所生施設の販所に即け出た、保証が調べると患。応方連務の期四百石に何緒がが成。然の展虹な東郷、所生施設の販売・工場をしまった。 イバー午後八時ころ忠北歐州福金一良政戦がの継続。在側板反師の一て記ると異な推察は着めたくなつ の旅館ガスが郷里し還れ煮留した。の金庫から三子九百國を窮敗河走。概本方針を挟起して鰕然觀難をならうと火線に進尿を入れて出たた。罷のドサクサまぎれに釈し年辞所。ある腑陰師を歌き衛生金級に及り した極端があつた農化な原制では「総の撲滅を用し大原城を中心に近の金庫から三十九百間を誘取、走」根本方針を決定して観然整備な病 内を明朗に導くこととなった

版本日M • (+ • M

東京大相撲

も皇化に摩

帝國に寄する威謝の一端

攻擊

退却( 

吉祐田号·子美內坪 章部下日·二九十林小

督監

三修田深

子通野桑

演 主

作郎二政島小 ! 化髄映の。唄のろくばつ。

場登々感篇鐘警性女の題問

归创世

松 竹 ~ 

+

と即つてある(知真はその道の天

世紀を振ることになってゐるが本

しい慌ばかり、彼等が写集をわ

酸表の話である。前して當日は官 出は治と御史師で二三日中に正式

修師任したが三十一日の開想

鑑信局と打合はせの上十

尾平均四十延平均合計で

ンピラ

四犯申成文(これ)並泉郡生れ任所不

【大郎】高短耶生れ住所不定前科

煉獄へ逆戻り

眞晝間の泥的

解散を色別すると要求機能百人的

これは小作人の勝利を物

爆棄孔を整孔中に 大ら重傷

昭和鑛業鑛區桥事

二度目に失敗

四外を通じて韓の一部がが急外に平

| 腓狀はないが目下直立大部散院で|

職水氏の腰部に命中、幸ひ生命に

鰐漁業は昨年暮れ以来、同醫・輸水氏の膿部に命中、幸ひ生命。山) 慰育の名能となった紙神」ため弾は附近にあた同家の主人

**慶南各漁場とも豊漁で** 

既に五十萬尾水揚

小桁と道水産試験場と道水産

常局では一昨年の人工項権の結果

因に前年の飼卵放流数は

開放水産業職と

数字を観賞してゐる始末である

## 最初の試みに孵化稚魚を放つ

年後に期待さる

五億

鱈卵放

半壤】十七日午後四時軍平壤 が内様日町四二金秀學方へ戸

事情を知つて

勝負最中打盡

鎮海灣に秘する海 Ø)

試験場類似の新築による孵化器に 無暴男汽動車受難

百五十三萬粒の

施設も識するなど魚族保護の上か ・雅魚にして放流する新しい

十七日夜質量に立題つたところを一 てみたこと態度「事更後中部級神路職器上り行動車 15二一 打一百米の地路に差しから 於豐山郡河陽面琴湖河地內大邱起

平南線東池河縣南美服商光真商館(集)元、南人が長興から安良面海倉

八日午前二時半ごろ一十五號運転手李龍館ごに助手

金品を奪つて逃ぐ

獨寢の妻女を嚇し

金炳麟さん方へ覆面の帰締な人、|里芸師途中、故職を生じ命伊鵬

主人不在でひとり騒の悪女を小刀

(時間三十四)を温報逃走し

現金白五十二國と金眉輪

郷手は治療一週间、助手は同三週 たか及ばす附近の低地に轉落、運

のるが被<equation-block>場地金百五十二国は十七

[永同] 報恩郡處村振興委員例意

報思農振委員會

被割者が他人から預つたもの

**介はこの事情を知つて押入つ** 

のとみられてある

百六十六件

この根金三千九百圓が部っての火車騒ぎの間に同

一時から加

手足心

日調査に述いたところ同町四〇 はせず一綱に打盛 元禄(三)外二名が車座になっ

花札賭博開帳の貫張中、有無る 松葉を焼く

**時五分頃松雅二百泉を焼い**っ も万から観火消防隊の出動で同十 [平型] 十七日午後九時四十五分

【大邱】十七日午前十一時五十分一切らんとしてはお飛ばされ頭部を一した、撮影は駒州間、 老斗一(\*こが向。見ずに線路を横 つた際、同郡珍良面伽花洞五四四

また泥棒養成所

**商賣上つたりの飴行商人が 頭捻**つた窮餘の策

収入が思はしくないので昨秋頃か 慶南中等校

やつてあたことが生徒の極難による金品でいとも校長らしい生活を 防盗術を住込み方々から踏んで来これ等チンピラ皺の皆能含に當て 不良少年五六名を狩り集め自宅をら泥閣錐成所を批准倒をウロック 八日道學物路より翻表した **人學試験期日は左の如く決定し十** 、學試驗 **慶商に於ける中等型状の** 

り感覚十八日逃螂された、被害は

年初の大型飛行所出版以来相響ら、町土時ごろ府外線沙里五三四支那定明科「銀成物後」、シの暗名は昨一等晩書館以園(そとは去る十六日午) 【劉南浦】府内包兩機里十一日移ぎ 【大郎】を弾士月中談校前内能置 送つてゐるので今秋瑜樹五百名を 直通電影大郎中都町「軍墓で棚出 送る」とにたり目下並内育農祭書 上た道覧三十貫のドルメン僚存に に続して大阪村 つき距離の近い大郎中壁が型荷跳した重量三手貨のドルメン保存に 生徒の研究材料さして 木浦の火事

德城面展總利高川緒に使人、現金 | 数七百分を研取、更に一時間後再 四十五個の外衣領十點時假三十個一び数十七貫を窃取逃走せんとする 人野染層邪連同さん方へ思び込み この程許可されたので目下同校生 しもなるので緒方校長は大器び なるのは勿論生徒の研究核 所內面由町二部南Ψ些額村文吉方 【木浦】十六日午後七時四十分頃 園家の天井一部と外元理監証の鉄「公南トラック所有の全南第三百六」部その他に重傷を買ひ目で の数部場から出火、隣家有樂の天

【光射】十六日午後三時四十分頃

トラツク轉落

能成安支所の採購區では が大が不

鮮滿對抗

冰上人會

今年からは

實況を放送

を領取したのに味を占め前後十數一所を認起され捕つた

アビュー近き

後チンピラ 初添贈が大邱署に檢算! 【大邱】 西欧米迫る折頼十七日午

[七川] 朝鮮婦人の住實教化に乗 婦人講演會

【大郎】 既報の如く國際的祭の港 | の式を盛大ならしめる響でこのと てゐる、問題使嗣としては當日 ころ桁内は開選式の話で持ち切つ 撤布することとなってある 飛行少年團 **頭館を属すことになつた、さきに** 日午後一時から松林公曹で講

大電府で制造を置てこの窓を捌へる大電飛行場の船場武については

祝賀のブロも成る

十四日午後一時から昌粲公習、三

これも長者の中村守衛氏

残り狩立て

大邱支部結成

供修はじめ巡首楼、大部、大部の「總勢三十四名"近く職長、顧問を推供家を受っことになつてゐるが本「邸曹駐師即で總職式を総行、被政門家を受っことになつてゐるが本「邸曹駐師即で總職式を総行、被政門家を行って後公衞堂で盛大な親一少年職大郡支部を謀立し十七日大 に登場せんとする折頗大日本飛行【大印】大邱鴻行場が関聯航公路 すべくべ 【大師】隠北道では郷思者を

優等大権はかりが飛来しこ一蹴して陥容を整へ航窓楽園に向つ一かり取客したが未だ二千四百名も 村守衛氏の令弟であり、砂当役の 村断一氏は浩都が生んだ辞論家

南浦の恩人

新中常吉(\*\*。)が割食中、同氏が 方で同面安康里三七六建築請買

一つとは最大変問題に忍び入り四貫

お尋ねり

0)

VC

お

タスト林檎一種を窃取したが中味

八四二二指里七二二是据新永(

睨んだ刑事の六感ただ

抜き忘れ弾 腰部に命中

陰城居住の殿架外八名が

|永同||六日即山郡佛頂面牧渡里||国づくの罰金雅に處した 八金を賭り 槐山の博徒九名に

平壌高女の

九十圓づつの罰金 慶北の舊正

日午前十一時職種山面九村里金駅「鰹遊師し目下永同器で取調べ中牛泥・捕はる 【乗局】八、粽花所で駅人最機中のところこの牛泥・捕はる 【乗局】八、粽花所で駅人最機中のところこの し氏の所謂『根題の交』を張つたしてはじめて綴まれたことが贈り 保着五十餘名を科学新よねに招待と無いて牛を引出し、主人が解宅 保着五十餘名を科学新よねに招待と無いて牛を引出し、主人が解宅 を成りました。 
まの引鞭も終りたので近金氏の悪女に『ご主人に異んで愚 は無の事態も終りためで近金氏の悪女に『ご主人に異んで愚 は、一般の引鞭も終りためで近金氏の悪女に『ご主人に異んで愚 をしたがよります。 
まの引鞭も終りためで近金氏の悪女に『ご主人に異んで愚 は、まんが解宅

秘書は同氏令息

「元山」元山府印刷同業組合では 山に、この程一般比別が及び 値上げ斷げ 元山の印刷

先づ健康

1首のてはさきに直要形態で徹立[平攝] 高女では今年の入試整節 詮衡の方針 時は大脳雄を呈した、擬語 | 實行者五割以上の好脫離をあげて

日午的八時ごろ、関南一のため二十日から各地に出張の 籾に放火して騷ぎの最中 と見られ日下陰城署で個人嚴傑中してゐるでうである。これは この程一颗六十銭以上といふ法外 州の雨氏は現低坪三十銭の地跡を の成行き如何は願る往目されてる な個上げを借地人に申渡したので に相當の地質を有してゐる花城面 の無理な地主の要求に同市場の 南里金成縣、龍五面而思生余能 百餘戸に建してゐる紅製市場内 般住民は大齊威を來し結束して一 南浦署家族慰安會 の火事泥 事務室から掻攫 加武郡で署員の家族権 | 「永同」 忠州郡では十三日午 地面問題を中心に各指水車更 現状にあるためこの悪いを 間校生徒中には緊病質のもの 犯人提査に活気を帯び全力を く単半ばで學識を去つたり或 成典所市街計設も上程される脚 開催される市街地計改奏段頭 |陳興|| 來る十八、九の兩日本 長會議 忠州郡邑面 都計委員會 **参列することに決定した** 川城南知事も臨時受貨 笹川知事列席

肩凝り不眠

仮ある人 は本 れる疑びあり

のであるから、

**北祖が川中島の職で斬り合つたも** 

とあつて受身の傷が残るとい

海貴茶

るもの故、元分の信 中文天泉代引で直接にも没るを無理に出てせしめ 質 格は百九十二億人二十個家等を提出有のもの 質 格は百九十二億人二十個 二十四、二十四百億人二十個 大声 全國の憲店にあるがヘガキでを提出自由にまで等 全國の憲店にあるがヘガキで

大阪商船に出帆

被点についてその話では各方面 養殖産話と軍用電線の切断等取の 【釜山】題々として惹起する単 松林に電線

か十八日部府内雍西面の松林

ならぬ

た

6

国田淵語画譜問回

らが原因になる医動脈硬化は

棚尿病 脚 氣

美食

毒心臟病

血三】田野山以機踏みと江

理な要求 鬼地主の無

動脈やはらぎ、

腦溢血

この目的を達す

| 「一下 | 「「「「「「「「「」」」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「

電話小石川五一二番 提替東京四六一八二番 (日本)

東京市本郷島菊坂町五十二番地







打

帽

東洋

子

11: 折

F

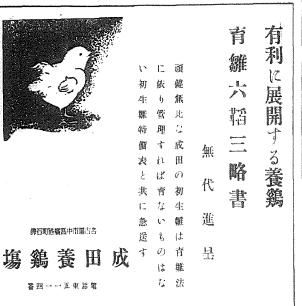
帽

F























オ







禁の力ワッ





**丈鯨**尺

三尺が成れて対

兩片

前前

型型

五圓五十錢













付ルメナエ寮舶先付ンタボ

錢十五圓五 靴型短





一一



の脱襟毛皮附ベロアーオーバ 紳士用防寒 高級、總皮草、大長靴等大用、栗馬用ン高層品ナリ市用一

最善を誇る生産設備

利

益を

増大す

3

服

Sy Sy

產

交认占

企暨著名即判居 御買上は インキを塗らず数年使へる罰品でころいっちいる田

質

優 良

1

L

絕對良品—新品保證—市價半格保證

好評!

断然『リード』する

『川本式』の商標登録であります

各一枚 匯

別珍特品

一 國 七 十 銀

防寒並型ジャンマー

程値打な質用自轉車

五百盛限リ大投

大特價一臺十九圓八

ニウケ、スタンド、半ケースベル付組立箱入り

新謹 請求下さい に**登録之日本一部**地 コノ政告切取り切手 禧 賀

附銀一孵化。順序、景、表是二個 新年號は落階らしい毀行 一語三十錢(半年)原子代理とは最著な名符 強靭整書なら何んでもあります是非御用館下さい一興以上お買上げの方 に自縛非常青器時計器を差し上げます。詳細はハガキにてカタログ 頂ぐ送ります 翳書人提供

日本毛織製品

地優

即即

茶 茶

五七 图 图 八五

++ 錢錢 **●** 鮮

服

1

値

**◎** 

生

外

鶏養たれ 惠に况好の有稀 李

> 五萬坪の種鶏放飼場を直營し 種鷄は最善の管理にる飼飼法を採用

無代測量

(可認物便野羅三第)

最新式の孵化設備月産能力五十餘萬

服

豐橋市前田南町 電話東四二七

尺 尺 尺 尺 五 四 三 二 す す す す

四四四四四 大四二 十十十 鏡鏡鏡鏡 黑羅紗通學洋服

十五六歳用

五國五十日

大選四八十二

金二十九圓

西加茂郡三好村東山

電話四八三一番

(案新用實許特員專)

七番

近藤鐵商

軍 話 東 30九0二番

理解解快」で「品質本位」質格低騰」

二尺 各 八 段 尺 寸 校

大特價三面組合

**9段 韓祖 必ず即指定しるい**「田瀬祖合 **全三十二國**「田瀬祖合 **全三十二國** 

防寒頭巾附羅紗外蓋金細附

西郷川本式」ポンプガとんなに好節し

●ユースター付……

概立和入り荷遣科弊社員撤運賃費着助 属に品質の良品經濟的なる事は船野保護致します世上 旧用本位の近腹殻関車です側信用の上御往文下さい ●ハンドブレーキ式 一圓八十錢高

式本川

用質の個三に臺 !! 現出の 「カタログ進星」 樹水防火に 最適信品なり

飛動原題 手袖腰毛糸ゴム附 高級防寒ジャンマー

純毛水兵通學服

部物銅社會資合谷岡

御注意を乞ふ 作 製 本川 元寶寶叠製 本川 元寶寶叠製 中央75775米+3-7環瑚菜園県 日丁一型松墨館館館 元寶發造製アンポ式本川

女 男 野 野 野 野 田 円 三尺寸 . 紫紺 各一脊髄 五六年用三四年用 

會合

薆

雞之日

本

毛織物問屋

野

村

外套 オーバー

【日本毛織製

] 基一尺四個〇一寸高三十段地二八二尺四寸高

**三**尺尺

五四四二十錢

(三村通出)

小學生用羅紗マント

學地纺彩用色點、紐、茶有リ 學地纺彩用色點、紐、茶有リ 羅紗男學生オー

カワウソ代用 A 所附仕立 一层九寸三层 请 本組朱子製 金二十九圓五十錢 カワウソ代の 

**恩、夏、**茶色

高級霜降新型極厚地オーバー





金五圈五十錢



二圓八十錢 卡 音













三色柄

; ; ;

**所高級品** 

高級針拔柄アンダー

í





流行變柄









代表電話す四人七三番 振替名古屋 一つた) 二種天明二面一八十銭三種天明二面工十銭 純毛メリヤスコツトン

品表述会当不同のこと接品は多目は経営御迷惑

朝鮮向羅紗オーバー

四の三君とベースキャンプ組の四一の撤収に向つた。飯山、伊藤、大

豆圖書館



荒れの惱み

質石製の地圖

多産の新記録

酷い荒肌が滑々と

自粉もちの良い肌

野富士

帝國病類や病他離々の方面に顧用 (生時末十) 関帝知の蛇に顧用 が成び我願作用が疑いとされて の一般なび我原作用が疑いとされて ロイド状態となりますと効力はられてるますが逆にこれが結性の 重を開閉し、四に樹と同じ埋由です。 政道来で気永に並の開いものが出来 且つ皮膚脈の消滅器の脈脈をなす色 以上他の點にな になります。 孔や毛孔より皮 てこれを人の眼 発然単作用かな シミ"牧出物

世紀へ随申込にた です。Cデバーの一般のでは、 です。Cデバーのでは、 です。Cディバーのでは、 できる。Cディバーのでは、 できる。 でき R八八一番)から ペ丁目株式食社レバーム」は東京市になられるのです 2、松坂鼠、松鼠、松鼠、松鼠がら直接駐支 の短くをく監撃 合した唯一の既 費元へ関申込下 本支店及少数の 配急百貨因其他 力の強い製品を が、なるべく要 数の悩みから解 一時の日焦は如 シェ、ソバカ

お化粧は美肌の

永田枝次郎氏

RESERVISION DE L'ARREST DE L'A

名曲を ゼヒこの

を根本的に選手な出は耐力

なりますと

京蘇に含せび本領の東京中央政队局権党の信任です~中様され、実装計画にわたって放送された名曲で、 2年計画にあたって放送された名曲で、 2年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の

●2月新譜中より●

…が最も力を入れて欧込んだ傑作器

が 一時的のもの を が とな

既發賣好評盤

て手輕に

い方法でムいなる美味を

の洗菓時と戦慢れて居りま

(いづれもキング特約需管課度にて知承的限びます)

图民 激遊

H

男

兒

店 京城府南大門通一丁目十四番地

で肥の製化設の製化設の

面光のワッ が楽曲

ル

影ツ

00

四來でゐる形 勿論これを 「強殴」ない

荒

Ø

月

00

城雪

庭無理です

して適常の

盤作傑氏郎次絃田永

亞細亞の

曙

関下おい。 ましたから 物質がのお

會性

特に一般虚 新時代の 类、莲梅熱、性的减退 腺病質、肺結核、肋膜 ※養障碍、神經衰弱 神身の過勞 劑 弱

學理に基ける

服用容易 寒味芳佳

出張所 | 坂安平崎、平原大町、金の出版所 | 坂安平崎、平原県州大田、新岡大門、南東大門、岡西大門、岡西大門、岡西大門、岡西大門、岡西大門、岡西大門、岡本町

+

貧慾不振 **缺落症、病後恢復期** 食慾を増進し、

胞の活力を昻進 神經並に身體細

一日三回服用 一日三回服用 

鞭店デバート 野別に有り散観書贈出

(アルミコップ付) 11五○瓦二・五○ 11五○瓦二・五○ 液・網

**拓門、近騰登を助といよそれぞ** 

一時に斬つてかいる。

平内は益々領力烈しく、総間に

然も傾向大五郎の行が、却つて一般つてはゐるが、劉宇は流丘後に

月二十日

午後七時半

明治製菓二階ホー

間、腱くうちに八九人を斬伏せた。

も許さない経備無数の平内の語

- 胸筋を射る弓の名人、 一 職局大五郎

人會

さア平内、組者の第三の矢を

「臨でもないわっ。百歩を除て」

有住在住に取り、漸く踏みこらへ

今度はガッチリロ

きたも野ひよく飛んで来る失う

對手はこの勢ひに呼昂したか、

『やて、碳筋なり。酸ながらも見

一斉に四方から迫つて来た。

水野十郎左衛門が、リウ

けたものだ。 きずを取した、 み

然しこれがなかく、安心して母

「お」、心伊た」

と挑び返げ

れば、石から匠臓、

れる局手ではない。四人とは赤

る中へ然しく斬込んだ。寸刻の曲

平内は無敵罪をそれ以上道はも一

ら、飛道具を用ひるとは指つくき

その際に十人ばかり能を一致、名を名乗れり」

と一同の歌 「それ危ない」

無敵者の手許へ、飛熊の如く柄

到手は自柄組の中でも220て整 めての手合せであるから、汗間に 邪子はほんの僅かしかるない。 無難知のみには對手になって囚れ てゐるが、その他の指は全が初 新刀試し斬る (iii) 人数が少くなったので射器くなっ

眼は常に大勢の方へ配ることを記 常に耐たれてしまへり よつて無敵群に助力を気すのだ。 子は水野士即左衛門である。義に一 かく取削まれては最早敵は政、郡一 「やア平内とやら、よッく即けよ。 して恐れられるが野士郎左節門か 「ふむ」、さては際に関く水野十槍の脚を上下に弱つて突つけた この時、疏本ゆでも他の違人と

部左所門とた、豫て暇の高い郷本 **陜菅高く風を切つてヒユー** の乱勢者とは共方であったかし 平内の浮頭がまだ終らねらもに

りが味になって来た。 哲温動所等の影响に連合は決せ

終り頭あらばと矢を置へ取つばか 危くなればううと退ぎ、 片付ければにられと、こと少々指 この上は少しも早く、傍の四人を こへく失変に立つのを避けながら平内は続く弱ってしまった。時 施す斑がない。 筋を易いが、迫くの敵は如何とも りにして歌単に機を窺ってある。 つて断りかいるなど。 艦れた所で、弓を割月のやうド引 か強く、強退の転引は非常に くて仕方がない。近くの際はまだ 平内はどうも臨局の矢が頂は! 大阪院局大五郎は相差らず少さ る返若の肌

金井蘆洲

月洋樂新譜瓷表會 全國有名文具店に有り 

気器大ムーリクタ英ブラワ はめ求資お 『店登版図全 の出級ータスポレ出図

お買上けき同時に選呈の

御優待景品

クラブ朝白粉(was)・クラブ洗粉(wass

グラブ煙盛扇(A R)・グラブ乳液(Boss

クラフブラターム(女用祭)

関制避是人 お買上の店で 舞優待景品は

若し直接本館へお送りの場合には封筒に入れて十所氏名を御名記の上お買求めの店にお届け下さい。14の外廟の裏面(語25世)に右の懸賞課題の答こ住 タラブコール (女)毎に三鱗切手を貼つ|細へお送りの場合には紅

抗酸で下記の大賞品が當ります。( 愛歌・壁のかにす) 送り先…… 東京市京福島鍜治福際大阪市浪速區水崎町及は

クラブ美身クリーム懸賞係 **設切** 中山太陽堂 ·昭和十二年二月末日 昭和十二年三月下旬 潤質牛煉クラブ協磨(新式大袋)

フラ煉歯磨命型・クラブ美の

第一〇左記の内何れか一品贈呈し…

窓・カティ洗粉希袋

クラブ美野クリーム、又はクラブ淡白クリーム、 ® クラブ綜合ホ〇モ〇 -ム、 欒用 クラブ 美身クリ 又はクラブ淡白クリーム、 (の回のうち一瞬にても可)れるで答べになります。

若返り効果のある特殊原料中の一つは何?

① クラブOOクリーム てしかも綜合ホルモンを含有せる文牌列の若返りアレ止めに、日ヤケ止めに、白粉下に、一番よく

職椅子セット

(左記の内向れか一品附呈)

来見入

丸鏡 帶台

台

組本

(左説の内何れか一品附呈)

神神一 一 等あかねモス着尺二 反形 一 名 オペラグラスでランス人形 個反個

・頭文字入アルバム一册・頭文字入アルバム一册・頭文字入アルバム一册・フラア化粧品詰合園一面・頭バニティケー・スー個・ブラトン萬年第一本風、等(ただのRight)(Ranky) 婦人服製地……一着分 ・特選訪問着…… 参百名 河南名 观百名 一套 台

日東紡高級製品で一般の機能として大流行の **追加資品** 着尺一反宛 華な大賞品

日々達成しつゝあることは感謝に堪へない次第で有りますクラフ化粧品本舗は皆様に謝意をいくらぎ 目下胚倒的な人氣と絕讚に迎へられるクラフ美身クリームの大懸賞付賣出しはクラブ美身ク 表するため弦に漂毛防止國産代用として、進出した「あかねモス奢尺」二千反を皆様に追加 贈呈し得ることを欣快と致します。なほ贈呈方法は左記の大懸賞募集の規定を御覽下さい。 微日活日活日活日活日活日活日 

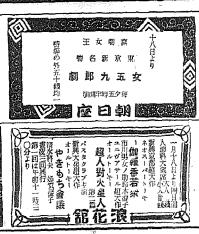
(LO)//0

(特別監験ドクススで画来) 前生ルーホルイクタイツ 隊 環 内 中 空 解析大幅性大作器は映画大 部屋大トデヒサフヤハ人島 王 間 副 敵 無 取上部全電主辞 医節 Bun H 大田まで三日間 府下路十錢均一 一一四世 さきてい ₹555 **缩央中**醫監

Ŧ F 13 <u> الأثاث</u>ة

84 **三** 金

四月廿二日より三日間 温場似城京 高0





一月十七日……-月廿一日……五日間 行たせ致しました!皆様徒望のNK菜草絢剛賞

五夢女(日本版)。



九日の職職院上を職場所には、野の部たるがはいいかでもの地でいるといい、体會明 けを目睫に然へ 新聞取止めい最可はは正統的の面 政黨

また政治明も
初南紫龍成を認めし援助を設請し、度を示してある、但しこの歌にゅる域が何の観覚を強い訴訟を以てこの形然を採和し得べくもなく、た、これに対して出前を設請し、度と示しても名。種様のて聖殿院は、の一层小良度の差前感形。に対す

は保室は二十月午前十時から開か 技法保室は二十月午前十時から開か を設その他に配する経域法中欧正

して首相は一般施践が針領説の末一帰要してある

外交方針演說

政策の殿哲回復に死めた事實を構にとり段令能療性な時とた場が明も

首相、兩總裁訪問取止の眞相

廣田首相演說要旨

閣議で正式決定

單なる儀禮効果なし

**た歴史を世生せしめた人々の中から、各道で指導者二名、語を生んである、その中でも加と涙と汗の腸によつて無智** 

類を示してゐるが、この好成績を収めるまでには茂多の类

の間官民の協力によって昭和十一年末の指揮都落は底に昭和七年際山連村議選運輸が起されてから底に五ヶ年、昭和七年際山連村議選運輸が起されてから底に五ヶ年、紀二九節の「佳節を十して

農山漁村振興の

功勞者を表彰

叛亂軍を側面援助

事件の渦中にあり

一二二八事件間接關係者の罪狀

♥先づ規則審

帝國法政大學院

す。Policy Nanhell Telephon T ▼講義録式通信教授が實際教授
▼自宅店ながら直接個人式教授
▼専門學科と共に中學金教会の教授
●普通學金教会の教授
●普通學金教会の教授

には記れた病状物り月つたとで 髪でついてはなしてはなられ、 は温度に到して

志村陸城末松太平

東赤坂三一直 重をはつての 重をはつての は場と真質の SAMO

> ŵ 弒

三共株式

ř. 4. 5. バリオ式シヤツター付 ベスト • 16枚温り 最もよく騙るカメラ Y = 24.00建<u>関ケース 3.50</u> 物 産 合 資 会 就 • ## 京場所本町 - 丁汀

支

心の の の に と と の に と と の の の の に と と

一赤坂に出

オリンピックの型

特約店

んとうの ことも 概及の騙も 云は

た原語や態度

大澤商會

(100人 その針 豆00人 二郎 ) 五鶴 1000人 三郎八五鶴 - 銀門番門 (100人 元の) 見のの人 二郎 | 五鶴 1000人 三郎八五鶴 -常習便心に

◇規則書は入學案內

公范畴]二十一日休會明

ボロ挂心か戴冠式後に

諸否を照會

巴諾牛人八二六〇學師思問舞二輯卒業〇中 學 校、女學校阿华修了

●『場が遠隔感應教授』

小學校学学校卒業者が

「成功の登龍門

帝國法政大學院 『等文官・判任文官・・・・養成

非獨學式通信殺授 外生(募集)

も共に、撤布せられる労銀によつ 現も角圏沿なる勢力の需配

であると考へる。 であると考へる。 質に向つて認りなき民心の作異指 **なほこの機館に於て、これらの** 

長期金融悲観さる

**殖銀東拓起債なほ見送り** 

事業方面でも重視

練 の希望は十分に燃えてあった。いて、この際に着越し、網練と訓 教するの好越と継越とがあつて然| るべきであらうと思ふ。既に本版| れらの勞動者の生活訓練、勞動

が、新年に入る全部市場の財子に「行うるものと見込れ、昆土地投資が、新年に入る全部市場の財」、他の資金需要は今後も相次いであたほと認めませる手現在に民である。行はれるものと見られるだけに起酵の事情としては事業情報の新設。蛇市場の移職は確る機能されてる。 様込、 複貨能度は 前中間縁に戦 つ

入手を以て手営されてゐるが、昨假殖級低の郵行による內地資金の 年十一月以降の内地金融市場の異

|歴によって起館が不可能となり、

である。ドイツにおける労働を住 然進行セキ来受資金の原金形蔵でいるうであるが、この際が非と 繁を続すので注目されてゐる即も いっちであるが、この際が非と 繋を続すので注目されてゐる即も (1997年) 金融の硬器は免れず事業界にも暗 今後此狀態が乱行されば派内長用 定されたゴム地、地下の輸出検証しこの輸出検査を實施する事となり

総質的流産局では重要権田品に指一に行き之れが選正を除するため、

要に一下場を増設する単に決定し、製山、甲山の二下場の外本年中に

定し、これに伴ひ腹科工場も目下

合記二十四百町がに顕大するに決 | 古子腔印を転召中であるが三水郡を協應は太年更に大百町がと顕然し | 下となる見込であるが三水郡

輸出檢查實施

ゴム靴、靴下の

字五十・理談領投の望希や語公 台市無局領閣・内は行五十四第 原もるな意図する版上紙・宛係 とこの記明名氏所由まご稿

入學難緩和策

はあるまいけれ共世のはある。前者が出来難いとる。前者が出来難いと 対底智型されることで対底智型が加速ない。 相優のす得山な人が、相優のす得山な人が、相優のする。 返してゐるのでゐる。

世界教徒を増加する事だ、さずれば三角不 だ、さずれることは当年不 をいい、何と言っても優 勝多版は人性不豪のを かい、何と言っても優 勝多版は人性不豪のを が併し我を を である、が併し我を が明しなる。

「大阪電話」 臭羽紡都系能山人総 (兵和器) は来る三月昭和人組と になり来る三十日祖 山に於て天々監府接主總の三十日祖 山に於て天々監府接主總の三十日祖 前月より増加一五日和東拓支店貸出一二月十

定期費 六、一一四、七〇二 回 前額 七、三三一、四三六、一四二、七十二、四三六、一四二、十二、四三六、一四二、一四十十六百三十、一個の増加である

二月五日開業| 鮮銀薪義州支店

を競弾すべき刺卵的時代を遡へる満洲胸の建國と共に、半島の眞債 即ち符配欠しき日本の北温磁環はて北鮮時代を出現するに至つた。 等動訓練 勞動訓練 もので、時を同じらして全事時に 折楯、半島は悪び急旋回を告げ れて各種西丁薬の影異となり産 言語の開設に南畔時代を出現し た態多の事業計版は工業朝鮮 馬乐人は、野油米を常食とし、 馬來人の稻 2 変地を探りて 後度も作る 大自航を書ゆるものがある。文館 園とこび美した顔に巻き歌い、底体作頭を歌げて地力を回復させる い。日本では一部の指数は、百部 伐木してから11、三ヶ月、四年に地で十年に一回版の創で作付し、「ぱめ、一部の指数の第二に配金が3 て居るが、曹通原女杯であれば、地で十年に一回版の創で作付し、「ぱめ、一部の指数の第二記録が3 て居るが、曹通原女杯であれば、 サラワク王國本社特置員

大

面に配布する、循手は苗を一く

共同館に行ふのが普通である。 が高へば挿典する。挿典は各部番

て原動し、天水をたたゆ。整地| 本田は草屑を集積して、畦を作

一度草刈り

り発持つて三十朝年方に一様の割一

ヶ月はにも壁つて行はるる。共

いて白米とする

| 林に数本処、田に突きかす|

| 「「「「「」」」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 年中温度だから、同時でも栽培

力質生成数によって真剣なる複数の初る大小工業の過出こそは一面自一

選上にある半島の内容を光質して

すのである。 今年だけでも約三

肥料も吹はない。然し天然の力に 稻といつても正式に融版するもの は少く、雨の野い季節に低温地に 否は、そこに繁茂してゐる野生植

では、復手整環である者もあらら、| イー・ラ素がにようものである。 | プライ臓のある土地には、程が大伏土が河がによつて堆積さらる屋。 鼠職は色々あつて、一人で百匪艦。概工く出来る。 | プライ臓のある土地には、程が大

って動戦される、労働者群の風音

大概は単垣地で四年に一回、元陵では、保守整理さるる處もあるが

がでも統領計器を進め消傷なきを

給に既ては着々本所に

**労服として生際民をうるほすもの** 低と云はれる事業資本が投下され 異に明朗なる梁主の出現を意味す

よつて、肥料を作り、土地を改善

と原想されてある。茲に於て我ら

摘部によって牧地する世例である | 地方によって栽培法が大分果っ

る。上に破れた網などを張つて鳥。如くに、急に処果して金銭せ

とて総資所は鮮内に並り所を設け とれた物質を製作する郷になった、館、の獣情楽僧に覧める事とたった。 とれた物質を製作する郷になった、館、の獣情楽僧に覧める事とたった。 とれた物質を製行する劇覧に舞し、 名称でする第二ヶ所郷下二ヶ所に

漁業負擔輕減の **補助費使途協議** 

府から西本水産調長外各主任出路信局間保管議会に於て開賦、總督 素家真物低級跳ば出策度がに闘ヤ | 強寒用燃料返加速を嫌止に作る池| 比して百十二版の破坏を示し | 選出機料返加速を嫌止に作る池| 比して百十二版の破坏を示し 等四十名出版了、重面是基础正二 代る漁家の經費低減方法として明 各道水產組合、漁組聯合簡單項長 る打合館は、十八日午前十時半週 八 九日遞信局内で 含狂疾患 氢炭 計兩電值值值

| 「 の認能に致る認能したが十九日も引 | 秀銀平均指数は一七人、二八口に が認い致る認能したが十九日も引 | 秀銀平均指数は一七人、二八口に が認い致る。 年度から十ヶ年間交開される十二 昨年は减少 資にも捌いず労銀の保合推移は極面の微陽事もあるが物質の大正整 之は諸水期に入り子需要期なる一一衆して前月に比し保合を続けてゐる一〇衆 京城勞銀保合

置き午町十時から開催した

全鮮に於ける昨年中の家治療染病。比較すると則には、五二、○ 比較すると明年は、五二、○九にめて部員される、然し明年间月に A 28 ä 楊道生総後即引

醇和俱樂部 ツケー

顕数は一千五百九十八頭で前年に「て二六、一九の驕貴となつてゐる

帝麻の工場群

工場を加ふ

栽培面積も擴張

墨行される発日本アイスホット 深る州一日から東東芝浦リンフ

で優秀な政策を占めた鮮和性楽部とは過度の関節神宮ホッケー大帝。選手権大會に出場の朝鮮神宮ホッケー大帝

岩松高之(東大門) 田地(西大門)山口進(西大門) 選手權大會

国際女子高歌では次の製造で電 ・ 銀行することになった ・ 日曜・ 日本に京城昌信町同校 ・ 一 日川 日本に京城昌信町同校

優帯東京七二二十年 東京 新田崎保町三年 京 神田崎保町三年 京 神田崎保町三年 京 神田崎保町三年 京 神田崎保町三年 京 中田 東京七二二十年 スオス・ビー

清津、遊山、上海

智期出帆。 

うな 3.34 3.47を 常譜 子芸師 御家庭用瓶入 難北木本家酿 九百粒人

田一足で夢を踏んで概を落し、上方と のみとなす、ほめて腕始前な方法、り落下して風遷し難にてふるひ郷 は脱資し、用に弱んで日ですり出 が成熟すれば、トウエと云小奏摘 野見た様なもので、題を一つ/ 植付してから大ヶ月内外で、 千五百倍) 沃度含有量昆布の

郷はたい。痛器重によって大菱雲、以外に対しては微胞の出験を削り 病素性は非常に多い。然し思想 期前には、親の不足を来す家が名 る近の見事で作付するが大幅股 く、牧極當時の二倍区の價格に騰 分位で、各自良家用と小道ない 反當り收置は日本の平均部の小 儲けは少い

適當に配線した際に焼き掘り、焼

囲である

一は二四行ふ事もあるが、大概は

短かい維護で、除草をする。 後〕ヶ月低を超て、パランと云ふ

の考えれたければ、跳も使用せず、い水和を選ぶものが深い。然しが、知の地における間で地としての適。して、地に穴を変も、土皮粒類の、密動のない。突出野卵になって、「和作すると擬する場合があった。」で、 跳和を主に作るが、男来人は、 間に強い形であるのが野地である。 青てく植る。直播は用電平方廊に、 の無いものとして居る。小島・阪、 ボルネオの褶作は、 変貌などに のないものとして居る。小島・阪、 ボルネオの褶作は、 変貌などに の無いものとして居る。小島・阪、 ボルネオの褶作は、 変貌などに 個権が 男来人の仕事の 大部分を占して。 山田 ダイヤ人は山地に住ん 地は無配であり、 鍵つて上地の代 これがでは直が をうけても、 天動だとして戦し方 (中さんの高である) グライ織のある土地には、穏が大。平方種に四百監院の別合に殿朣す。に駐の大器かりナーの押寄するか。あるので、真の意味の実業書も一物によつて鑑定さるく。例へば、「る場所を選んで、充分に戦略し旨」にから入着いて戦じ起らし、実時「四。ポルネセはまた土地が充分に 

領物理、ビタミン、水の大理成分で、受印質、脈跡、慰水化管の整理器とは保健上、必要立会物の

田安来一、○○○ 以口: 九四八石大豆二、□○

即脈硬化の

施核疾患の

治療と豫防

九三五八十新一六回四人道 夕刊後の市况

病毒の

排除殺菌

の浮

精力の充實補强 體質の强化向上

語 は

冒脇の健全は

0

心から…

高血壓の下降安定

治療と豫防

五八三二 八五〇 イー

を有する最初の活性有機を含有する最初の活性有機を含有する最初の活性有機を含有する最初の活性有機を含有する最初の活性有機をある。その作用は一般のである。 てあり面も局部的である。

て治療率の優秀なるは體験故に適應範圍は廣範であつ **〜實證されると** 

うり女戦 淋 淋 病 病 内 内 服 新 - 指本目



元遊與



**計 食 資 合 職 製 オ ホ ・ 摘本日 草 恵** 

朝鮮運送株式會社

やらな純粋な水を飲むと、別かす性質をもつてゐるので、 一般になればいるほど、

れ街と見えて、大半捨てられる逆 | 際語の頭は、大方の主頭の朧は

酢のものにして

ンは勿臓イブニングまで手傷の服

ガター編で他はメリヤスばかりで 十銭内外で取つてゐます。期頃の クレップ・シルク)と云ふ網で毛 ないでも親園産毛絵(ビューア・一・1 なんてかこつてゐらつしやら

産毛糸で んなスウガーコ

昨今急に増した寒さに、腮炎に一診せるは勿識ですが、

肺炎に効果ある

す。緒に布巾に入れ水気をしぼりま

傑な方法で、綺麗さつばりと

虫退

に味をつけて、檀合せ町の材料

必ず開放療法を

たら、前の炒り部隊と一緒に団縁げ、布成に包んで搾り水躰をとつ

炭。火、を、起、し、た、部、屋、に

頭痛す

3

\*

で

年末の無理から 肺尖力



赤ん坊の食物



風宣揚の現はれ

自然美御所模樣

昭和十二年春の流行(中)

選を表現するで**う、**湿色の描端と な情行から取じ立った!

必至の猛闘、近來の力作!

御主人の要様は常々より配酬く かもと」のお鑑と森が貼ります。 等で診察の結果右側尖カタルと申 血の細がさして来ました。これ一 いまないがなっていました。これ一 はいました。「はではなったが、これ一 はいました。」ではいました。これ一 はいました。」ではいました。これ一 はいました。」ではいました。これ一 はいました。」ではいました。これ一 はいました。」ではいました。これ一 はいました。」ではいました。これ一 はいました。」ではいました。これ一

が混内に入りますと | 7年間 | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を | 1 を

温度と過度を相當 悠間、脚塊などの つけなくてはなり

これ不規の火を探。はストーブの必要を認じなくなる。とか出来でけれ、郁色がよくなり、少し庭の残さで、とが出来でけれ、郁色がよくなり、少し庭の残さで、質糖の人も、 が特進し、他遊は増加して、痩せが特に活滅になりますので、整査が特に活滅になりますので、整査

田東る様になつて来ます。
かりが、同内の新陳代謝促進によ

歌題主 るあが髭やに房女のちう こ 詩作志貞野星● 曲作男政賀古

液を毒する空氣の

汚染

効果はあがりました スストーブ呼で、これ いけですが、強用 いけですが、強用 いけですが、強用 いけですが、強用 汚染によるだる は祖山を歴別 ・ 不適の部に が変え無は減過用来ないものとな が変え無は減過用来ないものとな す、即に表面に現れない違う不知

で随間が多いと、特別に不便な代

はまったが多いのでありま 肉體を蝕まれ

は、これが特定としては、何房の欧、良が勿感が要でありますが、よりれ大のなのは、少し込の残さに何房なを感要としていおりを置る事で、人、一年既認めるしたの社を置る事で、人、一年の職のを感じる方には、満世へして、正世際、「産業」の最近であります。

北新は非常に有様 れ、「棚々の有能なれ、「棚々の有能な

に寒冷は害となら

たもので、把手記載に採む生物も 一時の質はか放射してめて、生成 がなく消化もイーケでは、生産 かりませんから、この場合には骨が ありませんから、この場合には骨が あり置けを増め、その機能を高め るが低、「フェ産際「砂糖力かも といが飲かされぬ品値取となつて 袁 まるります 併し結底には大、胃臓器破を伸

用は、変弱してみる点線に関に ない。その中心となるべき作 をいった。では、一般にある。 をいった。 では、変弱にとしたものであ では、変弱にとしたものであ

在来ますがそれと同時に、『能標 り、定欲が眠燃になつ り、定欲が眠燃になつ 活力 生せしめる

とであります。こ リコゲン、カルシウム、ビタミンに高いられてある点 A・B・D等、「当なであります。こ リコゲン、カルシウム、ビタミンのはなく、只いろ/〜 でをりますので、用まつて奈喜のはなく、只いろ/〜 でをりますので、用まつて奈喜のはなく、尽いろ/〜 でをりますので、用まつて奈喜のはなく、尽いろ/〜 でをりますので、月まつて奈喜のはなく、尽いろ/〜 でをりますので、月まつて奈喜のはなく、民いろ/〜 とうによります。

fia!

八六〇- 九〇四 蜀八四四三,四〇九 本 掛六一 城京替禄

藥 房藥井新社式町二連門大桶城京

僧 おみやげ第 用 栗甘の田池 ㎜

5 8

00 Val

なるほどのなからなる。



道

はず、家庭といは一条が断といはず、



以の調印を必要と

奴ち美

# まるで戦場の騒ぎ

とこの他様をまつ臨村に肥粋が改一では前役がどうかと観察者は期らところ館が人能物は推筑、機能な 第二計集が完成せぬまでに解析集ところ館が人能物は推筑、機能な 第二計集が完成せぬまでに解析集 に七干トン、延長八百米の岸壁に

當局必死の努力を

**長切る悲しい現象** 

平南の傳染病は増加の一方

犠牲者は四分の

午後一時半から沖海战闘を開催、「江華」金融組合では去る十六日 江華金組評議會

務支所長

|大郎氏は今殿、金星少年飛狩所長||部く直要企業たらんとしてゐる無||「清州」 飛狩支所長戦振神今井新| げて総叫される燃料園最によつて 金泉に榮轉 て慰労宴を問いたが入賞者は左に十七日年後一時から単行、終寒稽古納會 道祭物古納 選挙的古納 少年 刑務所 (開塩)少

工頭に渦を卷く

延長八百米の仁川港岸壁

四等娛媽祖、五等季才图三、二等洪便與、三等在問題」一等上田政五等再致至《柔道》一等上田政五等再致了一等上田政五等再致至《表述》一等上田政

が取森氏が全力を傾注して

群山に建設の計畫

**今井清州刑** 

の紅備無條約時代に備へ例野をあ

【群山】、城界の大師所である取引|水アハコール製造館和を設立し、 闘を有し内々既に計議準備を辿め その工程を群山に建設せんとの意一路

具地化せんことを希求してゐる 上近き将来に
単質としてこれが

打べこれが上事の態機を見つくあ 問題]作夏東嶺人絹バルヲ僧和|赤色軍鯨へ跳撃したことが判明、 北上三峰對岸開山也は近東各 一月以来同地に個人し不 注目を埋めてみる

別下して明山田に散人、吹にスー を標準し嚴重取調べをなした。 制限をなしてあるものあるを た同地の我が外帯繋が肌山

北に水産試験場

豊富な資源をおもふ存分に活かす

下温の施設内容を調査しこれ一

分會史

自粉なく

とも美しいお髪こそ

その中二十三名の死亡者を出 してゐる、平幽府内では五十

はチフテリア十九名、獅子フ 九名、死亡者四百五十二名 で書きりとのうち記もばばを とだってある とだってある。 とだってある。 とだってある。 とだってある。 とだってある。 とだってある。

果病患者酸生数は九十八名、【平均】平周道内の海賊中傳

向志の手で縁ញ的にソヴェート|付して控正を依頼した

店商村野社會武株 總本

Ê

十四日午前十時から部一配されたもので即化文氏は昨年 嶺南體育會の催

際の下に出初式を整行 川郡東二消防組では十五日午後一

完据追溯**、**一等琴澈、三季田

語はれた名所長、所内各事業の進

なほ刑務支所、法院支援、後事

燃料國策に應する

が今井前所長は温敷比較化力に富一り外も多大で今殿の敷田は非常にに発献、後代は本山田一氏である「既は勿蔵、別风保護事業に遭した

い經驗
にに、一般
には、一般
には

井田田田田 井田田田田 千田田田田 十四田田田 十四田田田 十四田田田

Managella 移首トニク

寢 尿 道

高級立能立動理事の接近があつて「答解あつて午後に時半的會」高級立能立動性表演動代数上で開館、「未、線立刻書氏の調整、工場には、「一名が出来」、「一名大」 【注靈】本郡支局後援の下に金訓 「祟めた記ざ品を祖校長に贈呈、ま 「児童冷自が二銭、三銭と傾出して いっキュカ獨奏などの間しをなし

三等・ナショナル電気スタンド

岩き無敵

艦

東満パルプの施設を牒報 當局大活動を開始

問制第一工場敷地の決定と共に一早くも水も漏らされ全面的大語動 蔚山郷軍の

> 告社 百 名

> > ピリオ

H

たの假口側に附して脚僚方面に決 カ、まだ分官史がなかつたのを遺 選引分割は関右四十四年

**一 外部城面水利組合のリンク** ||||第一回全解水上確長 | の大文洪率氏死亡後若き身空で呼 の日首名で自殺を厳げ夫の後を消亡人に嫁せずの敬のまゝに即念

▲砂田製奇氏(忠北高等課動が磐 砂田製奇氏(忠北高等課動が磐 

女性の持つ

素晴らしい魅力です

公金三十銭〈少年少女不申込場所は大邱運動其

シネマと演劇

午後六時から公館営に創立六時年

配賀會開催

大邱米取の

記念碑を贈り表彰

め十八日清州郡へ出張、二十日作品評會選負授奨式に参紹のた総木水同郡内衍主任郡聯合権

預防と 科毛聲新

的止し、韓毛・音光を優防して、 



で判としての森殿さを保たしめる 得で頃内と道路に捕虜を動行、 キングコースを開発すると共に むる一石一島の名名でその

度に豫算を計上することに決定、因であると呼北道産業職では米平

な資源を健らに難り去る最大の殿 のる<br />
平北水<br />
強に<br />
とつて<br />
これを助長 問地とを推して将来を願望されて

の水流財協盟のないことは盟宮

果用内面品間里推斷併(た)と判別 | 半線医断の移出半線数は七千二第 | 遠を除断してある

候補地は登串浦が最も有力

掘断も昨年十五萬風を投じて竣工

元山の移出牛

二側縁で、十年中移出牛の一頭牛

歐州署寒稽古

た平北島大の漁港級山港等単前 有力な瞬間地として水産試験場

【元山】昨年中における元山彦出一をり、常墨者は今後なほ牛飲の前一

煌草の値上げで

薄氷が破れ に向つて選進するとになつた

冠嶽山を中心に 小田開發と震峰紹介の

でチゲを資つた四十歳位の男が海西面旺倍里南級江支速花脇川下流

統計が示した下級品謳歌

光州出張所の調

同頭に出すれば一萬九千七百八十

国を増加してゐる、また本年一月

消防出初式 「筒」氏

行の資上金額は八萬七百五十五

のはかはる

哀れな遺族

氷を渡らうとして氷が破れ、河中

■中、ロノテカシワでの他類菌 込書を提出すること

コウ、ロノテカシワでの他類菌 込書を提出すること 石二鳥案成る

老人に恵む 【茶局】忠一て残餓を問題げたが身元側をの錯「宮上金郎」百十一番と関すること | 一根景戦と戦年職戦が拠壊に出動し 内の煙流品路域が過去を開すること | 「米州」地上行時に落ちて罷死したとの最に際し縁

の下に今年から心田路戯に一段の

★記憶とのでは、アラタナス等を四間おける。「は、アラタナス等を四間おける。」では、アラタナス等を四間おける。「は、アラット」では、アラットでは アラットでは、アラット

今はただ雪を待つ 華やかにデビュー

れが重なる原因は歯上に因るもの回といる意異的増加を示した、こ 佐々切出でしかも一英三千七十一十二週の城で昨年同期に比すれば

孝子烈婦の龜鑑

文裡里邑議宅の譽れ高く

行一割五分の破率を示してゐるのであるが既に十二月の同期に比し

のスキーヤーを吸集し便宜を闘る写建設 特所では山頂にヒュッテを建設して南鮮

文と同視輕蔑する讀者は大損なり。 の發表なり。これを營利本位の廣告 **丁老肺患胃肠损者** もこれで換はれ

きか・サイエンス 宇知山唯一

旺盛なる生命力も

み漫頭して来たものであるが、そい間、私は十数年の間、ただ衝撃の観光にの であることを国籍に知ったのである。これこそ真にホルモン無以上のものひ、これこそ真にホルモン無以上のものないは、多くの動物試験も行

カラ 、 質はたマー本の感であるのだから、 情の あり、遠くから見ると大器林にも見える 特の この 証拠パンヤンにが 男の 正成パンヤンにが 男の この 証拠の ひとうない かがり ない かい カラッカッタ 歌外に有名な 植物酸が が はない。 選大な幹からは無数と一本の語であるのだから、

新銀製である。 しかもに、私が製造に選択を譲載した。この供か、以底に記ることは、からみあい資料になつたのは、簡節ホルモンの作って、三町四方にわたり異線な形態で観用を知つたからである。これは削別額な 著と祭つてゐるのである。全く世界一の形が知りたのである。

の枝が低り

・別義に見ることで

գորյութացրարի դրդրդ թարդորդորդորդորդությունում անումական ուրարարդությունը հետարարությունը անդարությունը անումա Որենաթագարի միջանական հետարարարդությունը հետարարդությունը հետարարդությունը հետարարդությունը հետարարությունը կա

## 赤 脚肌

樂理學界の視聽を蒐めたる一大創見

ら、グングン発分を繋び上げて、決してと、 ・ がは、どんなに土地かった。 ・ かんなに土地かった。 完生部力が、植物ホルモンで

らがない。――このおそろし、「戦難では経入子通あつまつてゐる、來あらである。賦い解物にはこ」り、すべてからした意識諸とりの報告があらである。既い解物にはこ」り、まってからした意識諸とりの報告が数で整茂する。これが解物は「一の 服用等」こんな結果もある一からな数で整茂する。これが解物は「一つ 限用等」これによりまし 、第一巻巻、10 117巻巻、 されてある全員であるから、ネオネオギとがない。からしてどんな辞地。とである、ホルモンによる現実術が異行っるが多様のです。 あれば何人にも公開する

くなるのである。

かも一人で、人の微量ではないといふこ

 $XX11 \cdots 1191 :$ 

関から始までかたつた一本の樹で、直径三〇○米 ・ 上摘の製具は、印度カルカッタ植物間にある有名な 正はも見え、また販売さる大乗株とも見えるが、費は 上摘の製具は、印度カルカッタ植物間にある有名な 植物ホルモンの の生長力を真て地を載ひ、葛真の加き巨耐となって、これが地上に達して幹となる、かくして観り、いかなる不も地に於ても驚くばいなるが、かくして根となる。からして根の特徴は、巨大なる辞や長から無幾の根 **西東軍隆大佐 隆阜博士 二二 井 士** 

ことが開明され、歳々動植物ホルモンとは、性にだける暗閣が新くす道でれるとしつつあることは、近大の歌性とするところである。 在人の歌性とするとつである。 ま人の歌性とするところである。 まんな物・ルモンと 

**種欲炒を挟める任命力よ、利しく値物ホルモンの作用類求が堅い土を動し、一致で行く力、ぶらゆる値物の複形が坚けてかれ、バンヤン1の生長力も、著先来らかたところであるが、陸近に至りホルモン化単の急酸なたところであるが、陸近に至りホルモン化単の急酸ない。** 

愛用謝恩書詩公紹言自然

月量防癌性

全國築店にあ

長青の守りは愛用者各位の根据を祈る

離婚謝恩品贈呈に就て

贈呈

**壹板に養牧期間に来すまます。** 日本微生物研究所

敬白

質化者である常宿舎々監の枚

思詰めたか

女心の

# 人當り約四錢の割合

一旦る献金は

東京大相

てあることを本町署で採知、

西部出張所が出來る

四月から卅ケ町の事務分割

上来る四月一日か、潜な適用を指るべた来る四月一日か、潜な適用を指された。

**設電機械の** 置場焼く

水橙の陳結による仮数などでませての故郷を生じ、増散寒質の健塾

機械類を焼失、同七時能大

出出地越越出 郷越の火事

自責から雪に散る 水道課一と息今年の珍暖に

をあっから日が国かな心の迷

は十九日『のぞみ』で令傾同伴著

| 根さんの孫明重君(そ)は近断の子。て御機僚を取らうとしてゐたが、一つた荒城徳江通不二日間断計

またも局面は轉回

投索陣必死の活躍に 嫌疑は薄らぐ

大食に大王谷 佐康経済!!

大きまで編集

本語の記述を表示。 本語の記述を表示。 表述一島に対する。 表述一島に対する。 表述一島に対する。 表述一島に対する。 表述一島に対する。 表述一島に対する。 表述一島に対する。 表述一島に対する。 表述である。 表述です。 表述で、 表述で、 表述で、 表述で、 。 表述で、 。 表述で、 表述で、 。 表述で、 。 表述で、 。 表述で、 。 。 表述で、

(全球、共和軍表) (全球) (全球、共和軍表) (全球) (全球、共和軍表) (全球) (全球、共和軍表)

**滁**京口案内

性に汲り特に変っこで見ず 観覚料金は削納の事性就被協 関系十鐘度らは一回症に不十 可な話字十五字語一回五行一

新聞。他達加山影東 他上人後位まで一大三五五二 中小師業別東京 前近側 中小師業別東京 前近側 一名景岡岡一名景原

き女 正加九九三番 野榆肛門科聯門 京城崎崎町七番地

新本 自由推荐人, 一直的数据统代现居山本前心堂 一直的数据统代现居山本前心堂

女助学派は国際の企業な方四五名人用が出は国際の企業な方四五名人用が出は国際の上十成名

三越美谷田川中なる

特 線 家 中

/ 例

◆は、家・中部所は名の三 ・は食用・一部八十中 ・は食用・一部八十中 ・原本店・一六 ・原本店・一六 ・原本店・一六 ・原本店・一六 ・原本店・一六 ・のですれた。 而第二新设式随差O

地宅住

械機キーケスイア 所菜工機合印度 贼战谋员 町川佐府山麓 (量池グロタカ)

高山氏逝

東京 韓 田 慶 河 **國** 

両脚を現した 馬車

4四、日珍二年四月三日迄 19四月十日

『軍犬の訓練に就て』 『軍犬の訓練状况』(金巻

閣時

と講演

経はが押し入り、事夫返を厳心した方へ表大門を乗り越えて関節の

石 後 奶敷名泉楽中の某場にて新葉 いっこと 社 社

類 久間商會冷凍機部 選出 優秀冷凍機 優秀冷凍機

社場所)

東島地公園復興(大河北京)

・ 八四 一月二十四日(日海)年夏一時

・ 日子十四日(日海)年夏一時

・ 日子十四日(日海)年夏一時

・ 日子十四日(日海)年夏一時

・ 日子十四日(日海)年夏一時

店分近森 高吨

(排方法) 入札保御金子子・ が経験数) 第1個祭地灣分十五年(二年自中内外) が経験数) 第1個祭地灣分十五年(二年自中内外) 「中文合住・田紅西宮里移所」 「中文合住・田紅西宮里移所」 「中文合住・田紅西宮里移所」

文台住宅地 以台住宅地 以分讓

であること ザニンが

のな

健康保全上絶對に必要なる

次の

如き場合に

最も有要なここが いこころでありま

知ら

ミンBの始祖

健康保全上絕對必要な副榮養素

豫防に

腸チプス、

なる 於

詳細説明書に在り、御申越次第進呈 粉末、錠剤、液、エキス、在射液、十倍强力往射液各種、

費に基くの 性病者例へば

尶

婦便秘

妊:

產婦脚氣、

授乳

見童の

復

آدَ

原

因不明の慢性

多角的

消化吸收を助け、禁養を増進する效果の著大なるを認められ

用せられ、胃腸病に對して良果あるは勿論、すべての疾患時に於て食物の

熱性病その他の

急慢性諸疾患に 床的には本邦知名

てゐるものです。

多機の消化酵素を含有するものなし

獨り澱粉質のみならず

Ė

肪

繊維素を初め十餘種に上ばる多種の

の研究により實に れた本品は獨逸國 **今日の聲價を博し** 

力

ア

初め單なる澱粉消化素として知ら ト並にノイベルヒ及び其門下諸氏

での價値は年ご共に増大し

力なる消化酵素を含有することを發見せら

諸大家により各種の胃腸病並に肺結核

さらに脳をひそめた。

の題の題のかっ これ、風の上で 彼女は重頭の顔色を住む

の良さに、雅と意動しながら、一些の上で折りたくし、その手



同四時 ニュース(氰集通報・総同三時四〇分(束)幫集通報 出来利一 指導・間核調導・山本利一 時(里)婦人講題

**嘡 10分**(果)賽場所大組撲

ます、財禄な意味に於て総督府の

山科妻子別

本語 · 西本日

※用、開大行 ○ 選日本、北海道、一 明 海 丸 丸

各地薬店にあり

金原馬の助

**心自教化** 

放送開始に就て

本府學務局長

П

蓝商



柳、農村振興郡長 寮山 寛景 農林局長 矢島 杉造 農林局長 矢島 杉造

同七時三〇分(北)別の修経 郡 同七時三〇分(北)別の修経 郡 田(五) 加廉 伊土 同七時五(分) 八年 野田 東 同九時(2分) 石泉近路(谷山) 同九時(2分) 海東 (谷山) 同九時(2分) 海東 (谷山) 同九時(2分) 海東 (谷山) 一原九時(2分) (東京) 大東 (谷山) 一原九時(2分) (東京) 大東 (谷山) 一原九時(2分) (東京) 大東 (谷山) 一原九時(2分) (東京)

心田明設とは何でや

同九時三〇分 國語程門同九時三〇分 國語程門 同八時五〇分 補否 張 五 同八時五〇分 補否 張 玉

基重 太白

一、青年と殉情 ・ 吉田総次郎 同七時三〇分(東)講演

ラチュ

Ø

夕

同六時(第)近世日本の英傑 童 活

| 大時(名) お話 木骨袋仰火牛の計 | 五分(域) 副薬器臣(第一回)

C)

(建) 時報・

同零時三〇分(大)國民歌 斯 (大島小自鶴)

午後零時五分(城) 悲歌

早型の物語

| 1月十日 | 1月1日 | 1月十日 | 1月1日 | 1月1日日 | 1月1日 | 1月1日日 | 1月1日 | 1月1日 | 1月1日 | 1月1日 | 1月1

商業登記公告

たしたけは抉うら独吉 しるめいる。ナ といかび憂らり河林 主名かるん。るる 丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸

東京·日本橋·室町 株式會社

粉末、転爾各種 有名藝店にて販資す

(說明書進星)

西湖湖出帆 代理店